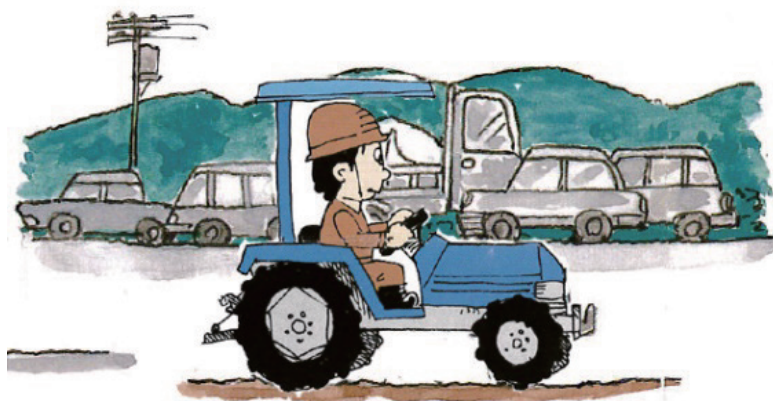


Ⅲ 利用の手引き

ーリスクカルテの活用方法ー



Ⅲ 利用の手引きーリスクカルテの活用方法ー

1. CD-ROMのファイル構成について

素材集に添付されているCD-ROMの中には、現地講習等で使用する資料を作成できるよう、「Ⅱ素材集」、「Ⅴ安全啓発チラシ」、「Ⅵ安全啓発パンフレット」等のフォルダーがあり、それぞれ項目ごとにファイルを収録しています。その他、本冊子の本文全ても pdf で収録しています。具体的なファイル構成を表3に示します。

表3 リスクカルテCD-ROMファイル一覧

Ⅰ 農作業安全リスクカルテについて	
Ⅱ 素材集	
1 素材集 (ppt)	00 表紙表裏
	01 目次ー共通編表裏
	02 Ⅰ 乗用トラクター
	03 Ⅱ 刈払機作業
	04 Ⅲ 歩行用トラクター
	05 Ⅳ 高所作業
	06 Ⅴ 暑いときの作業
	07 Ⅵ 重量物の運搬
	08 土地利用型作物編ー目次表裏
	09 Ⅰ 耕うん・代かき
	10 Ⅱ 田植え
	11 Ⅲ コンバイン収穫
	12 Ⅳ 大規模畑作・野菜作収穫
	13 果樹・畜産編ー目次表裏
	14 Ⅰ 果樹
	15 Ⅱ 畜産
2 チェックリスト (excel)	共通編
	土地利用型作物編
	果樹・畜産編
Ⅲ 利用の手引き	
Ⅳ 解説書	
Ⅴ 安全啓発チラシ	トラクター (pdf 及び ppt)
	刈払機 (pdf 及び ppt)
Ⅵ 安全啓発パンフレット	A 4 ひな形 (スライド4枚) (ppt)
	A 3 ひな形 (スライド2枚) (ppt)
	A 4 自由編集ひな形 (ppt)
Ⅶ 個人指導用資料	個人指導用資料例 (果樹) (ppt)
Ⅷ 農林水産省ポスターコンテスト入賞作品	

2. 安全講習会資料の作成

素材集は基本的に、チェックリスト、事故事例、改善のポイントで構成され、一つのチェック項目について基本的に2枚のスライドで作成しています。

ここではプレゼン資料を作成する例を紹介します。実際の場面では、安全講習会で使用するテキストやプレゼン資料は、それぞれの講師オリジナルな内容にアレンジして作成してください。

1) 素材集を組み合わせる資料を作成する方法例（もっとも簡単な方法）

(1) 目的

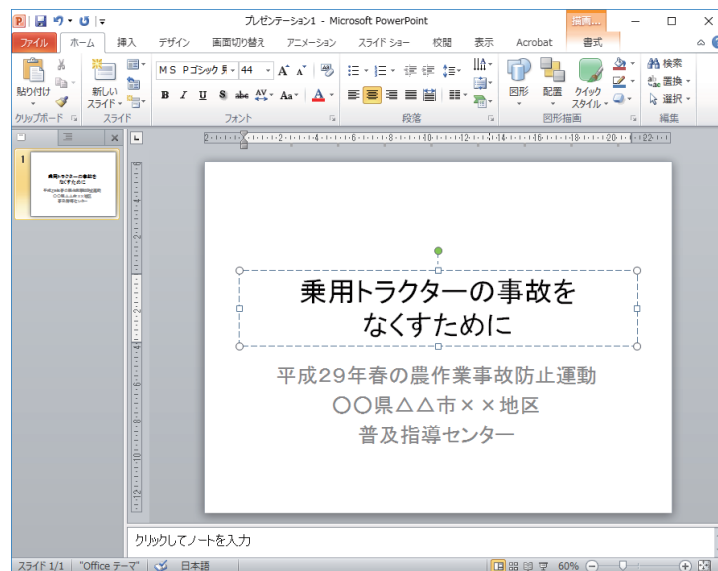
乗用トラクターに関する安全講習会資料で、①危険マップの作成、②安全キャブフレームを装着したトラクターの利用推進、③安全な作業機の着脱、に焦点を絞ったものとする。

(2) 使用する素材

- ① 「リスクカルテ素材集－素材集」フォルダー内「02 I 乗用トラクター」のファイル
- ② 「リスクカルテ素材集－素材集」フォルダー内「09 I 耕うん・代かき」のファイル

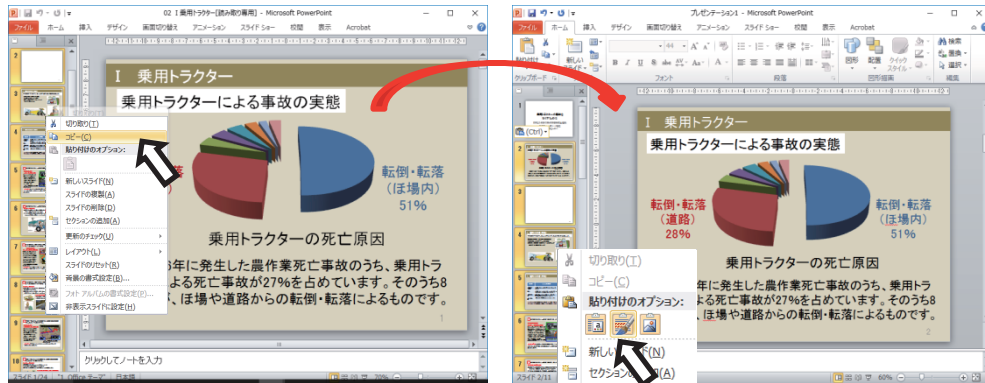
(3) 作成方法

- ① 新しいパワーポイントファイルを作成し、タイトルスライドを作ります。

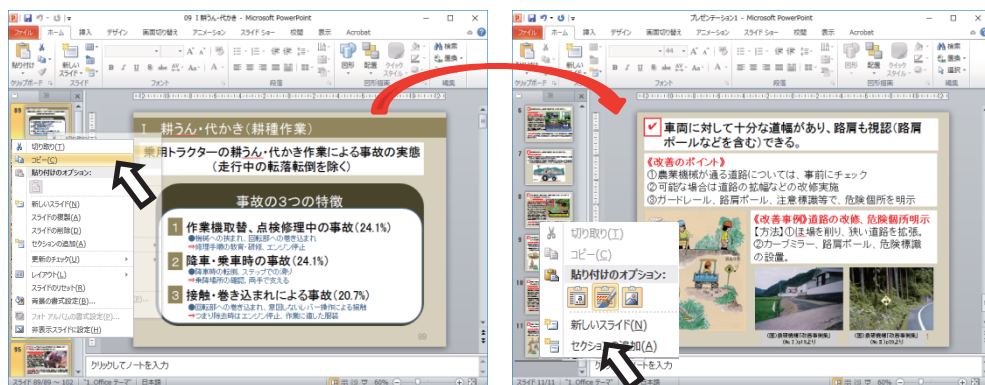


② 「02 I 乗用トラクター」のスライドをコピーして、タイトルスライドの後に貼り付けます。(スライド番号1～10)

貼り付けるとき、「元の書式を保持」して貼り付けると、背景色やフォントの色などをそのままコピーできます。



③ 「09 I 耕うん・代かき」のスライドを②に続けて貼り付ける。(スライド番号 103～110)



④ 講習時間、地域特性を考慮して、スライドの一部を削除する。



⑤ 項目のナンバリング、スライド番号を修正する。

⑥ 別途タイトルを付けてパソコンに保存する。

2) オリジナルな資料を作成する方法

素材集をアレンジして、講師オリジナルの講習会資料やパワーポイントを作成する事が可能です。

素材集のパワーポイントに、講習に合わせたデータや資料の追加、既存のチェックリストに項目を追加することや、新たな項目で「チェックリスト」、「事故事例」、「改善のポイント」のスライドを作成することもできます。

3. 個別指導のための資料作成

安全啓発活動のために、個別に生産者を巡回することも多いと思います。その時に手渡すパンフレットなどの資料は、生産者の経営形態に合わせた内容にすることによって、訴求力も高まると期待されます。

ここでは、果樹の生産者向けの資料を作成する例を紹介します。短時間に効果的に伝えるために、項目を絞った内容で作成してみます。

1) ひな形を利用して資料を作成する方法例

(1) 目的

果樹生産者向けの安全啓発指導資料、スピードスプレーヤ、高所作業に焦点を絞ったものとする。

(2) 使用する素材

① 「リスクカルテ利用の手引きー個人指導用資料」フォルダー内「個人指導用資料例（果樹）」のファイル（ひな形）

※1枚目に「チェックリスト」を、2枚目に「改善のポイント」スライドを貼り付けた構成になっています。

② 「リスクカルテ素材集ーチェックリスト」フォルダー内「共通編」、「果樹・畜産編」のファイル

③ 「リスクカルテ素材集ー素材集」フォルダー内「14 I 果樹」、「リスクカルテ素材集ー素材集ー05 IV 高所作業」のファイル

(3) 1枚目の作成方法

① ひな形では、素材集のチェックリストを組み合わせ使用しています。具体的には、果樹・畜産編「14 I 果樹」のスライド番号 162、共通編「05 IV 高所作業」のスライド番号 78、82、88 です。

農作業を安全に行うために(〇〇果樹園)				
これから防除作業や摘葉・摘果作業でとても忙しくなります。農作業事故では、慣れからくる油断も大きな要因の一つとなります。忙しくなる前に、今一度安全な作業のために、ご自分の作業環境、機械や器具、作業方法などについて確認してください。				
1. スピードスプレーヤ(SS)				
事項	チェック内容	チェック欄		対策
		そうだ	ちがう	優先
移動・作業経路	園内の作業路の樹木の被さり、旋回場所などの園内環境にかかわるチェックがされている。			
機械作業	SSIによる作業の危険と機械の特性を熟知している。			
2. 高所作業				
事項	チェック内容	チェック欄		対策
		そうだ	ちがう	優先
作業場所	脚立を安定して設置できる広さがある。 脚立が不安定になる場所では、同僚に脚立を支えてもらう。 脚立周囲に、昇り降り時に邪魔になったり、転倒したときに危険な、側溝や、崖や石などが無い。			
使用方法	開脚防止チェーンを掛けて使う。 脚立に昇る前に、脚立の安定性、周囲に危険物が無いことを確認。			
確認	最初に、最下段に乗り安定性を確認。			
作業方法	天板に乗って作業はしない。 身を乗り出して作業することはない。 昇り降り時には、重いものを持たない。			
〇〇県△△市××地区 普及指導センター				

- ② チェックリストは、編集が容易にできるように Microsoft® Excel® 2010 で作成したファイルが「リスクカルテ素材集ーチェックリスト」フォルダーに収録してあります。これらを加工して、スライドに貼り付けると、比較的簡単にオリジナルのチェックリストを作成できます。
- ③ 構成は自由に考えてください。
- (4) 2枚目の作成方法
- ① ひな形には、果樹・畜産編「14 I 果樹」のスライド番号 164、共通編「05 IV 高所作業」のスライド番号 80、84、90、92 を選択しています。
- 素材集から、1枚目で作成したチェックリストに関連するスライドを選択してパソコンの適当な場所に保存します。(P15【参考】を参照)
- ② 保存したスライドを紙面に見栄えよく貼り付けます。ドラッグ&ドロップでも、コピー&ペーストでも簡単に貼り付けることができます。
- ③ 構成は自由に考えてください。



4. 安全啓発パンフレットの作成

例えば、全国農作業安全確認運動などに際して、地域ごとにA4表裏のパンフレットを作成することも多いと思います。素材集を利用すれば、比較的簡単に作成することができるので、以下に作成方法を紹介します。

例として、平成29年度春の農作業安全運動用パンフレットを作成してみます。

1) スライドをそのまま利用して作成する方法例

(1) 目的

春の農作業安全運動で、死亡事故の多い乗用トラクターの安全啓発のためのパンフレットを作成する。

(2) 使用する素材

- ① 「VI安全啓発パンフレット」フォルダー内「A4ひな形(スライド4枚)」のファイル(ひな形)
- ② 「II素材集ー1素材集」フォルダー内「02 I 乗用トラクター」のファイル

(3) 表面の作成

- ① ひな形では「2016年農作業安全ポスターデザインコンテスト」の日本農業新聞賞受賞作品が貼り付けられています。

なお、「農林水産省ポスターデザインコンテスト」フォルダーの中には2016～2020年の入賞作品が収録されていますので、地域や目的にあったポスターを選んで貼り付けて下さい。もしくは、都道府県で作成したものや自作のポスターやイラストを貼り付けることもできます。

※農作業安全ポスターデザインコンテストの作品を利用する際には、コンテスト名、作者名等を必ず明記して下さい。

(ひな形参照)

- ② ポスターの下に、運動の名称、主体を記入します。



- ③ 構成は自由に考えて下さい。
- (4) 裏面の作成
- ① 例では、スライド6枚使用サンプルは、「素材集ー02 I 乗用トラクター」のスライド番号1、14～18を選択、2枚使用サンプルは「素材集ー02 I 乗用トラクター」のスライド番号1、16を選択しています。パンフレットに貼り付けたいスライドを、パソコンの適当な場所に保存します。(P119【参考】を参照)
- ② 保存したスライドを貼り付けます。ドラッグ&ドロップでも、コピー&ペーストでも簡単に貼り付けることができます。
- ③ 任意のサイズに調整します。
- ④ 残りのスライドも同じやり方で貼り付けます。
- ⑤ テキストボックスを挿入し、注意喚起するポイントなどを記入してください。
- ⑥ ご自身でお持ちのデータなどを貼り付けて、組み合わせて作成することも可能です。

※スライド6枚使用サンプル（左）と スライド2枚使用サンプル（右）

農作業で死なないで！！

農業では多くの事故が起きていて、死者数は建設業とほぼ同じです！働いている一人当たりでは業界最悪レベルです！！

1. 乗用トラクター

乗用トラクターによる事故の実態

乗用トラクターの死亡原因
平成26年に発生した農作業死亡事故のうち、乗用トラクターによる死亡事故が27%を占めています。乗用トラクターによる事故の実に8割近くが、ほ場や道路からの転倒・転落によるものです。

☒ 安全キャブやフレーム付きのトラクターを使用している。

【事故事例】安全キャブ・フレーム付乗用トラクター
3.3t級の農道を片手運転で走行中操作を誤り、左側の排水溝（幅45cm、深さ150cm）に転落。音聲発生、右大腿部に怪し、右第3指挫傷。
（平成25年4月午前10時30分頃、男性・70歳）

【改善のポイント】
① 3.3t未満の乗用トラクターは、視界の悪い日中に行うようにします。
② 夜間や雨の日、霧の日の出前には走行する場合は、作業機につけても見える位置に低運転マークを貼付しましょう。
③ 反射板を作業機や車輪がわかる位置に貼付しましょう。

【事故事例】
① 1.5t級以上の乗用トラクターのため、乗用トラクター・作業機に低運転マーク、反射シール（黄色）を貼り付けた。

2. トラクターの道路走行

2. 車両の評価（農業機械）

事項	チェック内容	チェック結果	対策
安全キャブ・フレーム付乗用トラクターを使用している。	安全キャブ・フレーム付乗用トラクターを使用している。		
運転	作業機を付けても、後方から見える位置に尾灯や反射板がある。		
低運転	作業機を付けても、後方から見える位置に尾灯や反射板がある。		
低運転	作業機を付けても、後方から見える位置に尾灯や反射板がある。		
低運転	作業機を付けても、後方から見える位置に尾灯や反射板がある。		

【改善のポイント】
① 3.3t未満の乗用トラクターは、視界の悪い日中に行うようにします。
② 夜間や雨の日、霧の日の出前には走行する場合は、作業機につけても見える位置に低運転マークを貼付しましょう。
③ 反射板を作業機や車輪がわかる位置に貼付しましょう。

【事故事例】
① 1.5t級以上の乗用トラクターのため、乗用トラクター・作業機に低運転マーク、反射シール（黄色）を貼り付けた。

農作業で死なないで！！

農業では多くの事故が起きていて、死者数は建設業とほぼ同じです！働いている一人当たりでは業界最悪レベルです！！

1. 乗用トラクター

乗用トラクターによる事故の実態

乗用トラクターの死亡原因
平成26年に発生した農作業死亡事故のうち、乗用トラクターによる死亡事故が27%を占めています。乗用トラクターによる事故の実に8割近くが、ほ場や道路からの転倒・転落によるものです。

☒ 安全キャブやフレーム付きのトラクターを使用している。

【改善のポイント】
農作業事故の現状を知り、積極的な対策を講じましょう。安全キャブ・フレームの効果が高めるため、シートベルトの着用を！

安全フレーム（4柱式） + 安全キャブ

【事故事例】
① 3.3t未満の乗用トラクターは、視界の悪い日中に行うようにします。
② 夜間や雨の日、霧の日の出前には走行する場合は、作業機につけても見える位置に低運転マークを貼付しましょう。
③ 反射板を作業機や車輪がわかる位置に貼付しましょう。

【事故事例】
① 1.5t級以上の乗用トラクターのため、乗用トラクター・作業機に低運転マーク、反射シール（黄色）を貼り付けた。

2) スライドのコンテンツ（イラスト、写真、テキスト）を組み合わせる方法例

(1) 目的

春の農作業安全運動で、死亡事故の多い乗用トラクターの安全啓発のためのパンフレットを作成する。

(2) 使用する素材

- ① 「Ⅵ安全啓発パンフレット」の「A 4 自由編集ひな形」
- ② 「Ⅱ素材集－1 素材集」フォルダー内の「02 I 乗用トラクター」のファイル

(3) 表面の作成

P115（「4. 安全啓発パンフレットの作成－1」スライドをそのまま利用して作成する方法例）を参考に表面を作成します。

※農作業安全ポスターデザインコンテストの作品を利用する際には、コンテスト名、作者名等を必ず明記して下さい。（ひな形参照）



(4) 裏面の作成

- ① ひな形のスライドの背景色を貼り付ける素材に合わせて変更します。
- ② 例では、「素材集-02 I 乗用トラクター」のスライド番号1、16、22を選択しています。

素材集の各フォルダーから使用したいスライドを選び、スライドのコンテンツをコピーして貼り付け、任意のサイズに調整します。

- ③ コンテンツの配置やサイズ、色、文字のフォントを調整して、見栄えよくします。
- ④ テキストボックスを挿入し、注意喚起するポイントなどを記入したり、ご自身でお持ちのデータなどを貼り付けたり、自由に組み合わせて作成することも可能です。



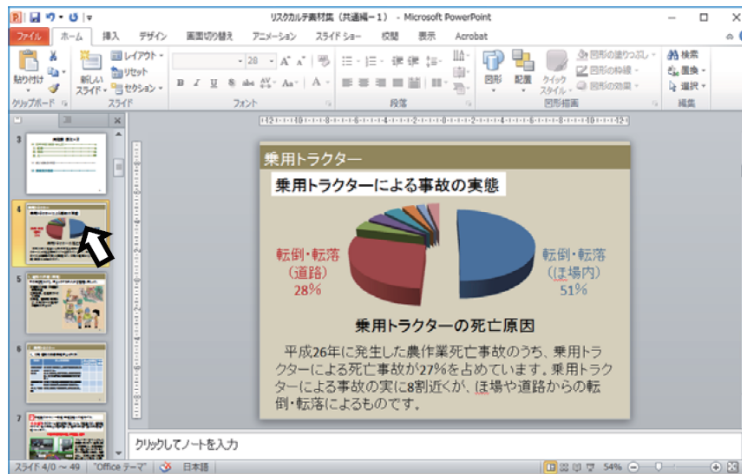
① コンテンツがない、スライド（A4自由編集ひな形）を準備し、背景色変更します。

② 素材集のスライドから必要なコンテンツを選び、コピー＆ペーストで貼り付けます。このとき、大きさを適宜調整します。

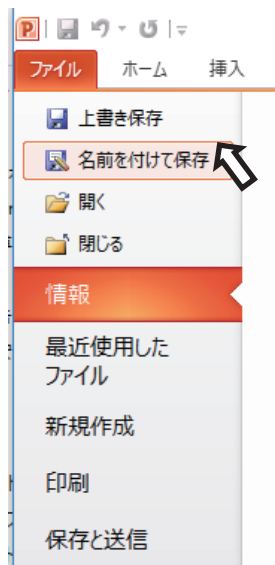
③ コンテンツを見栄えよく配置します。テキストのフォント、大きさ、色をそろえるようにします。

【参考】パワーポイントのスライドを高画質で保存する方法

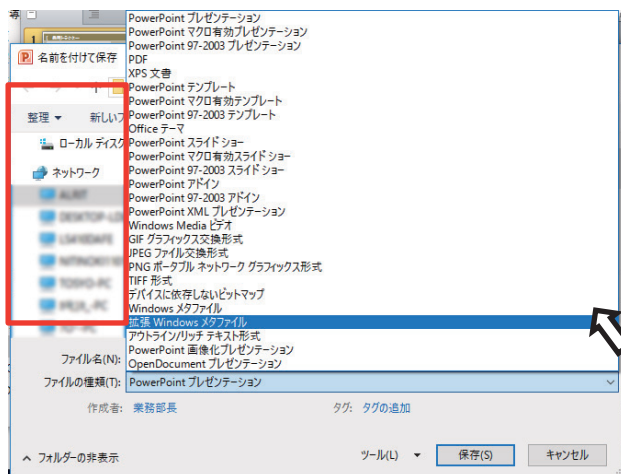
1. 素材集の中から必要なファイルを開き、保存したいスライドを選択。



2. 「ファイル」－「名前を付けて保存」を選択。

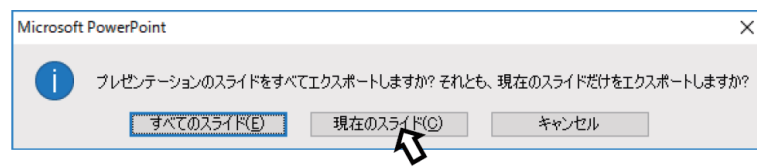


3. 「ファイルの種類」から「拡張 Windows メタファイル」を選択。



4. ファイル名を新たに付けて「保存」を押します。

5. 「現在のスライド」を選択。



以上の操作で、指定したフォルダーに、Windows®の標準ツール「ペイント」で読み込める形式でスライド1枚が保存されます。